



2015 年度 第 44 回 全日本 470 級ヨット選手権大会

兼 第 29 回 全日本女子 470 級ヨット選手権大会

兼 2016 年国際 470 級ジュニア世界選手権大会代表選考レース

期 間: 2015 年 11 月 17 日(火) ~ 11 月 23 日(月)
場 所: 鳥取県境港市 境港公共マリーナ
主 催: 日本 470 協会
公 認: (公財) 日本セーリング連盟 [承認番号 H27-34]
後 援: 鳥取県セーリング連盟、島根県ヨット連盟

NOTICE OF RACE

[DP]は、プロテスト委員会の裁量でペナルティが決定する規則を意味する。

1 規則

- 1.1 本レガッタは、2013–2016 セーリング競技規則(以下「規則」という)に定義された規則を適用する。
- 1.2 メダル・レースはアンパイア制を採用する。詳細は帆走指示書付属文書 Q で示す。
- 1.3 規則 70.5(a)に規定されたとおり、プロテスト委員会の判決を最終とする。

2 [DP]広告

艇は主催団体により選択され支給された広告を表示するよう要求されることがある。

3 参加及び資格

- 3.1 本レガッタは日本 470 協会・各国 470 協会に登録されている艇が参加できる。
- 3.2 参加しようとする選手は a) b) の両方、かつ c-1~3 のいずれかを満たしていること。
 - a) 2015 年度 (公財) 日本セーリング連盟会員である
 - b) 2015 年度 日本 470 協会会員である
 - c-1) 日本 470 協会会長又は各水域 470 協会理事の推薦を受けている者
 - c-2) 全日本 470・全日本女子 470 歴代優勝者(スキッパー・クルーそれぞれに権利有)
 - c-3) 歴代 470 級ナショナルチームの者(スキッパー・クルーそれぞれに権利有)
- 3.3 2016 年国際 470 級ジュニア世界選手権大会代表選考レースに参加しようとする選手は、各水域予選に参加していること。各水域予選を通過出来ない場合、470 協会各水域理事の裁量で推薦されることもある。
- 3.4 参加しようとする外国籍選手は下記の全てを満たしていること。
 - a) 2015 年度 所属国 MNA 会員である
 - b) 2015 年度 所属国 470 協会会員である
 - c) 日本 470 協会会長の推薦を受けている
 - d) 日本国内で有効な賠償・傷害保険に加入している



- 3.5 参加資格のある艇は、大会 web サイト <http://www.alljpn470.org/2015> にアクセスし、10月14日(水)までにエントリー登録する。また、公示4の必要な参加料を10月30日(金)までに指定口座に振込みすることにより、参加申込みする事ができる。 大会 web サイト URL:<http://www.alljpn470.org/2015>
- 3.6 エントリーは2015年8月3日に開始される。

4 参加料

- 4.1 必要な参加料は下記の通りとする。

エントリー料 1艇 30,000円

【参加料振込先】 三菱東京UFJ銀行 銀座通支店

普通口座 0041494 カトウ マサコ

※ 前年度優勝チームが同一メンバーでエントリーする場合は、エントリー料のみ免除する。

振込名の注意点

※ 1艇分振込 Sail No.と振込者名を記入すること。例:4700 ヨンナタロウ

※ 複数艇分一括振込 艇数と団体名を記入すること。例:3〇〇〇ダイガク(3艇参加の場合)

また、エントリーフォーム備考欄にも艇数と団体名を記入すること。

- 4.2 その他の料金

11月14日(土)～23(月)のマリーナ使用料金はエントリー費に含まれる。この期間以外でのマリーナ使用料金は各チーム負担とする。

5 レガッタフォーマット

- 5.1 本レガッタはオープニングシリーズとメダル・レースで構成される。オープニングシリーズは、基本的には予選シリーズと決勝シリーズに分けられる。また、オープニングシリーズの成績上位10艇はメダル・レースに参加できる。

5.2 予選シリーズ

- 5.2.1 5レースが予定され、2フリートに分けて行われる。

- 5.2.2 全艇を2フリート(黄、青)に分け、2つのフリートのレース成立を以って1レース完了とする。

- 5.2.3 最初のレースのフリート分けは大会実行委員会が決定する。また、各日のレースが終了後、艇はシリーズの成績をもとに新たなフリートに分けられる。フリートは、各日20:00時点の順位(確定していない場合は暫定順位)をもとに割り当てられる。(1位 黄、2位 青、3位 青、4位 黄、5位 黄、6位 青、以下同様に割り当てる)但し、2艇以上が同順位の場合、それらの艇は、次のレースで対戦するように割り当てる。

- 5.2.4 同日に2つのフリートのレース数が同じだけ完了していない場合、同じレース数になる様に、次の日もそのフリートでレースを続ける。

5.3 決勝シリーズ

予選シリーズが3レース以上行われた場合に行い、6レースが予定される。予選シリーズの最終成績順に上位半数のゴールド・フリートと下位半数のシルバー・フリートに分けて行う。ゴールド・フリートはシルバー・フリートと同数、又はシルバー・フリート+1艇とする。

5.4 決勝シリーズ・ラストレース

最終日の決勝シリーズは、ゴールド・フリートの11位以下、及びシルバー・フリートの全艇が行う。このレースの得点は決勝シリーズの一連の得点に加えられる。このレースは、メダル・レースを行う場合に行う。

5.5 メダル・レース

- 5.5.1 1レースが予定され、決勝シリーズが2レース以上行われた場合に行う。メダル・レースには、ゴールド・フリートの成績上位10艇がレースに参加できる。ただし、規則5または規則69に基づき失格とされた艇は、メダル・レースには参加できない。

- 5.5.2 メダル・レース当日の08:00における順位を以ってメダル・レース参加艇を決定する。

- 5.6 成績はメダル・レース参加艇、ゴールド・フリート参加艇、シルバー・フリート参加艇の順に順位がつけられる。

- 5.7 レガッタフォーマットは2015年470級世界選手権の最終レースフォーマットに応じて変更する事がある。



- 5.8 全日本 470 級ヨット選手権大会は男女の区別をしない大会である。全日本女子 470 級ヨット選手権大会の成績は、全日本 470 級ヨット選手権大会の成績を流用し、女子選手の中で総合得点の少ない順位で大会の順位付けを行う。

6 日 程

6.1 レース日程

| 日付 | | 時刻 |
|----------------|---------------|-----------|
| Day1 11月17日(火) | 受付登録、計測 | 1300-1600 |
| Day2 11月18日(水) | 受付登録、計測 | 0900-1600 |
| | 開会式・艇長会議 | 1630 |
| Day3 11月19日(木) | 予選シリーズ | 1030 |
| Day4 11月20日(金) | 予選シリーズ | TBA |
| Day5 11月21日(土) | 決勝シリーズ | TBA |
| Day6 11月22日(日) | 決勝シリーズ | TBA |
| Day7 11月23日(月) | 決勝シリーズ・ラストレース | TBA |
| | メダル・レース | TBA |
| | 表彰式・閉会式 | 1530 |

- 6.2 11月23日の予告信号は下記の時間より後には発しない。

| | |
|-------------------------|------|
| メダル・レースの場合 | 1400 |
| フリート・レース(メダル・レースが無い)の場合 | 1300 |

6.3 レース数

NoR 5に示し、1日に実施する最大レース数は4レースとするが、各日の実施レース数はレース委員会の裁量によるものとする。

7 計測

- 7.1 艇は MC/MF(Measurement Certificate including Measurement Form)を持参し、受付登録及び計測時に提示しなければならない。
- 7.2 セールは基本計測が完了していなければならない。オープニングシリーズとメダル・レースを1つのレガッタと考え、セール計測は1セットのみ実施する。
- 7.3 少なくとも次の計測を行う。クラス規則 C.6.1(艇の重さ、帆走重量)、クラス規則 B.3.1、C.10.3、C.10.4、D.1.4、G.2.2と、クラス規則 F.3.5(a)(11)と(12)とクラス規則 C.9.2(a)(4)、クラス規則 E4.3、E.4.5。今大会ではその他にも行う準備がある。
- 7.4 計測の手順等は、大会 web サイトにて事前に指示する。
- 7.5 艇または装備は、規則に従っていることを確認するために、いつでも検査されることがある。

8 帆走指示書

- 8.1 帆走指示書は11月1日までに大会 web サイトにて入手できる。また、大会受付時に交付される。
- 8.2 帆走指示書に対する質問は、11月11日まで E-mail にて受け付ける。
- E-mail : info@kanto470.org
- 8.3 帆走指示書に対する質問への回答は、大会受付時に大会公式掲示板に掲示する。



9 開催地

NoR Appendix A は、レガッタ・ハーバー及び、レース・エリアの場所を示す。

境港公共マリーナ

〒684-0051 鳥取県境港市新屋町 3458

Tel: 0859-45-4151 web: <http://www.sakaiminato-marina.server-shared.com/framepage2.htm>

10 コース

帆走するコースは次の通りである。

トラペゾイド・コース、ウインドワード/リーワード・コース(ソーセージ・コース)のいずれかとする。 詳細は帆走指示書で示す。

また、ターゲットタイムは 45 分とする。

11 ペナルティ方式

規則 42 違反に対し付則 P を適用する。

12 得点

12.1 付則 A の低得点方式を適用する。

12.2 大会の成立には、4 レースを完了する事が必要である。

12.3 予選シリーズでは

12.3.1 予選シリーズの成立には 3 レースを完了する事が必要である。

12.3.2 予選シリーズの得点は繰越される。

12.4 決勝シリーズでは

12.4.1 決勝シリーズの成立には、2 レースを完了する事が必要である。

12.4.2 ゴールド・フリート、シルバー・フリートは個別に記録され、レース数は異なる事がある。

12.5 カットレース

12.5.1 3 レース未満しか完了しなかった場合、艇のシリーズの得点は、レース得点の合計とする。

12.5.2 3 レース以上完了した場合、艇のシリーズの得点は最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。

12.6 メダル・レースでは

艇の得点は次の通りとする。これは付則 A2 を変更している。

12.6.1 メダル・レースの得点は 2 倍とする。

12.6.2 メダル・レースの得点は除外出来ない。

12.6.3 参加を認められた艇数をメダル・レース参加艇数とする。

12.6.4 メダル・レースに参加を認められた艇の得点のタイは、付則 A8 を変更し、メダル・レースの得点で解く。それでもタイが残っている場合には、決勝レースの得点を含め、付則 A8 に従ってタイを解く。

12.6.5 メダル・レースに参加を認められた艇は、メダル・レースにおいてスタートし、コースを帆走し、フィニッシュするために真に努力しなければならない。この指示の違反に対するペナルティは、その艇の順位を、メダル・レースに参加を認められた艇の中で最下位とすることとする。そのような艇が複数いた場合、オープニングシリーズの順位に基づいて最下位から順に順位を与える。

12.7 本大会の最終順位は、メダル・レースに参加を認められた艇、ゴールド・フリートの参加艇、シルバー・フリートの参加艇と



する。ただし、艇が規則 5 あるいは規則 69 によって失格とされた場合にはこの限りではない。

13 支援艇

- 13.1 支援艇を出艇させる場合、受付登録時に登録しなければならない。
- 13.2 支援艇はレスキューボートとみなされ、以下の条件を満たす場合のみ使用を許可する。
 - 13.2.1 常時は支援艇として航行範囲の制限を守り、レース委員会からレスキューボートとしての要請があればいつでもこれに応じること。この要請があった場合のみ制限範囲内への進入を認める。
 - 13.2.2 支援艇は、ヨットモーターボート保険(対人対物賠償責任保険及び搭乗者傷害保険)に加入していること。

14 賞

- 14.1 全日本 470 級ヨット選手権大会の賞は次のように与える。

| | |
|-----|-------------------|
| 優勝 | 優勝杯 (持ち回り杯) ・ 賞状 |
| 準優勝 | 準優勝杯 (持ち回り杯) ・ 賞状 |
| 3 位 | 賞状 |
- 14.2 全日本女子 470 級ヨット選手権大会の賞は次のように与える。

| | |
|---------|----------------------|
| 優勝 | 優勝杯 (持ち回り杯) ・ 賞状及び賞品 |
| 2 位～3 位 | 賞状及び賞品 |
- 14.3 日本国籍を有する 2016 年 12 月 31 日時点で満 24 歳未満の(スキッパー、クルー共に)男女の各数チームを 2016 年国際 470 級ジュニア世界選手権大会代表チームとするが、(公財)日本セーリング連盟オリンピック強化委員会の判断により、派遣を見送る場合がある(世界のレベルに値する力量の有無により判断)。また、代表チームは協会が指定した強化合宿や大会に参加することを条件とする。
- 14.4 海外の選手が参加する場合はオープン参加とし、順位は通常通りにつけるが、賞は授与しない。

15 無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は無線送信、すべての艇が利用できない無線通信の受信をしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用する。

16 責任の否認

このレガッタの競技者は自分自身の責任で参加する。規則 4[レースすることの決定]参照。主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

17 肖像権と電子機器

- 17.1 選手は、本大会に参加することにより、大会期間中の選手または本大会における選手の装備に関する動画、スチール写真および撮影された映像またはその製版について、対価を求めることなく、主催団体に独自の判断で使用する権利を与えるものとする。
- 17.2 艇は主催団体により選択され支給された電子機器を艇の指定された位置に搭載するよう要求されることがある。



General Information (Not part of the Notice of Race)

◆ 追加情報

- ① エントリー締め切り後、また、強風・無風、事件、事故などによる中止・延期による返金はしない。
- ② 艇、支援艇の搬入搬出手続きを各チームで行うこと。
- ③ MC/MF 再発行、名義変更等の計測書式手続き、申込みはエントリー締め切り前までに行う様にお願いします。

計測書式(MC/MF 再発行等)に関する問い合わせ先

日本 470 協会計測委員会事務局

E-mail : 470jp-keisoku@freemail.com

- ④ 大会計測申込書は、大会 web サイトから取得し、大会にご持参ください。

◆ The weather conditions

11 月の気象条件

風速 7-16 knots

気温 8-15°C

◆ Boat Park Storage

境港公共マリーナ

〒684-0051 鳥取県境港市新屋町 3458

Tel: 0859-45-4151

web: <http://www.sakaiminato-marina.server-shared.com/framepage2.htm>

◆ Accommodation & Travel

境港市観光協会 宿泊ガイド <http://www.sakaiminato.net/site2/page/point/stay/>

JTB <http://www.jtb.co.jp/>

HIS http://www.sumayado.jp/?xadic=j_kanto_navi

楽天トラベル <http://travel.rakuten.co.jp/>

◆ 問い合わせ先

大会 web サイトお問い合わせフォームからご連絡下さい。

大会 web サイト URL:



NoR Appendix A



COURSE AREAS

